

相談事業

(1) 一般相談：センター職員対応

相談件数・状況(件)	年度 状況	17	18	19(2007)年度				延相談 件数
		(2005)年度 延件数	(2006)年度 延件数	相談者の内訳(人)				
				問合せ	初回	継続	合計(人)	
	認知症高齢者等	2,211	3,342	8	451	82	541	3,598
	知的障害者	77	99	0	53	3	56	130
	精神障害者	498	607	1	47	19	67	823
	その他	201	210	16	46	5	67	239
	計	2,987	4,258	25	597	109	731	4,790

※対象「その他」は、難病、高次脳機能障害の方や疾病・障害等の内容が不明な方など。

★困難ケースの増加

複数の問題を抱える家族や経済的侵害の対応など複雑で困難な相談が増加しており、行政・介護支援専門員・医療機関など関係機関と連携し、相談支援にあたっている。

★相談内容の多様化

一般相談の内容は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度に関する内容にとどまらず、認知症状への対応や老人医療制度概要、相続や死後の事務（葬儀・家財処分）など多岐に亘った。

(2) 成年後見一般相談：センター職員対応

内 容	17(2005)年度	18(2006)年度	19(2007)年度
成年後見制度 一般相談	相談者 255 人 延べ相談 336 件	相談者 321 人 延べ相談 413 件	相談者 405 人 延べ相談 540 件

★前年の相談者数と比較すると約 25%増加

★制度の概要を理解した上で、利用の必要性や、権利侵害を防ぐための制度利用、鑑定医師が見つからないなど具体的な相談がよせられた。

★関係機関や後見人等からの継続的な相談も多くなっている。

(3) 成年後見専門相談：司法書士対応

日 時	相談員	会 場	開催回数等	相談の内容		
				法定後見	任意後見	その他
毎月第1・3水曜日 (祝祭日除く) 13:30~16:30	東京司法書士会 練馬支部司法書士	練馬区地域医 療課相談室他	全23回開催 32件相談	25件	7件	0件

★区民の成年後見制度への理解を広めるとともに、制度の利用を支援することを目的として専門相談会を実施。

★相談傾向としては、高齢の親亡き後の知的・精神障害者の生活や、親族からの金銭搾取など権利擁護の必要性のある相談が増えている。

(4) 権利擁護法律相談：弁護士対応……2回開催（相談件数：6件）

★高齢者・障害者の遺産分割に伴う後見制度の利用や、土地名義や居住権に関する問題など、専門的な見地から助言を受けた。

(5) 地域の「ほっと相談会」：センター職員対応……1回開催（相談件数：8件）

★高齢者や障害者の今後の生活に関わる相談、成年後見制度利用の関する相談に対応した。

福祉サービス利用援助事業

(1) 地域福祉権利擁護事業

ア 利用者数（人）

利用者数・状況（人）	年度	17 (2005)年度	18 (2006)年度	19(2007)年度				
				独居(63人)		家族同居(6人)		
				男	女	男	女	
認知症高齢者等		27	42	15	32	1	1	49
知的障害者		1	2	1	2	0	1	4
精神障害者		11	14	8	4	1	0	13
その他		3	3	0	1	0	2	3
計		42	61	69				

★認知症や物忘れのある高齢者、知的障害者、精神障害者を対象に、契約により、福祉サービスを利用するための支援調整や、日常金銭管理、書類預かりの支援を行った。

★関係機関等から相談のあった方のうち21人と新規に契約した。

★本人の状況変化に応じて、在宅から施設入所、地域福祉権利擁護事業から成年後見制度利用などへの移行支援を行い、13人が解約となった。

(2) 財産保全サービス・各種手続代行サービス

ア 現契約利用者数（人）

	財産保全	各種手続き代行サービス	両事業利用者（再掲）
契約件数	8人	11人	3人

イ 現契約利用者の状況（人）

利用者数・状況（人）	年度	17 (2005)年度	18 (2006)年度	19(2007)年度				
				独居(12人)		家族同居(4人)		
				男	女	男	女	
認知症高齢者等		8	15	3	6	2	2	13
知的障害者		1	1	1	0	0	0	1
精神障害者		0	0	0	1	0	0	1
その他		0	0	0	1	0	0	1
計		9	16	16				

※対象者「その他」は、視覚障害の方。

★加齢や身体障害・病気により、財産の管理・預金払い戻し・各種支払いや手続きなどが困難な場合に、書類等の預かりや手続きの代行を実施。

★死亡・他制度への移管で5人が終了となり、新規に5人と契約した。

成年後見制度の利用推進

(1) 周知普及事業

ア 事業説明会

No.	年月日	会議名称等	実施主体
1	H19.9.11	ミニ地域ケア会議「地域福祉権利擁護事業・社会貢献型後見人の養成と今後の取り組みについて」	富士見台在宅介護支援センター
2	H19.9.19	「成年後見制度についてのわかりやすい説明会」	栄町町会・介護予防委員会
3	H19.9.27	ミニ地域ケア会議「地域福祉権利擁護事業と成年後見制度の説明会」	練馬ゆめの木・高松在宅介護支援センター
4	H19.11.5	「地域で利用できる福祉サービス、制度について」	障害者地域生活支援センターきらら
5	H19.12.2	「成年後見制度についてのわかりやすい説明会」	南田中団地第4自治会
6	H20.1	練馬区・新任民生児童委員研修における事業説明(4地区)	練馬区
7	H20.2.7	「成年後見制度説明会」	練馬区立水川台福祉園
8	H20.2.25	登録説明会「これから社会人となる方々へ地域で利用できる福祉サービスについて」	練馬区障害者就労促進協会
9	H20.3.14	「成年後見制度説明会」	練馬区立大泉町福祉園

★町会・自治会、関係者会議、障害者施設等において制度の周知・普及を目的として説明会を行なった。

イ 講演会・シンポジウム

開催日	内容	講師等	会場	参加者
H19.4.27(金)	「成年後見制度と医療の連携」 共催：成年後見推進ネットこれから	医師	多目的会議室	152人
H19.9.25(火)	～知的障害者の生活を守る～成年後見制度の活用 共催：区立福祉園父母の会連絡会	社会福祉士	多目的会議室	126人
H20.1.27(日)	～精神障害者の地域での生活を支える～ 成年後見制度の活用 共催：練馬精神障害者家族会	弁護士、精神保健福祉士、 社会福祉士、家族会代表	勤労福祉会館	53人
H20.3.18(火)	～知的障害者のための～権利擁護と成年後見制度を考える 共催：練馬手をつなぐ親の会、未来・ねりま	全日本手をつなぐ育成会理事	多目的会議室	121人

★認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など、利用者の個別ニーズに応じた制度の活用方法や必要性を周知し普及することを目的に、利用対象者別の講演会等をNPO、障害者の家族会と共催で実施した。

(3) 後見人サポート

開催日	内容	講師	参加者
H20.3.9(土)	後見実務等情報交換と弁護士による後見制度講座	弁護士	8人(含職員)

★実際に後見受任をしている区民を対象に後見人連絡会“ねりま後見人ネット”を開催

★弁護士を囲んで後見人実務に関する講座と情報交換を行なった。

(4) 後見人養成・支援

講座(行政施策や対象者理解)	実習・見学	後見業務実地研修(専門職後見人同行)	その他研修
14回(20講座)	3回(作業所等・施設等)	14回(7名・各2回)	8回

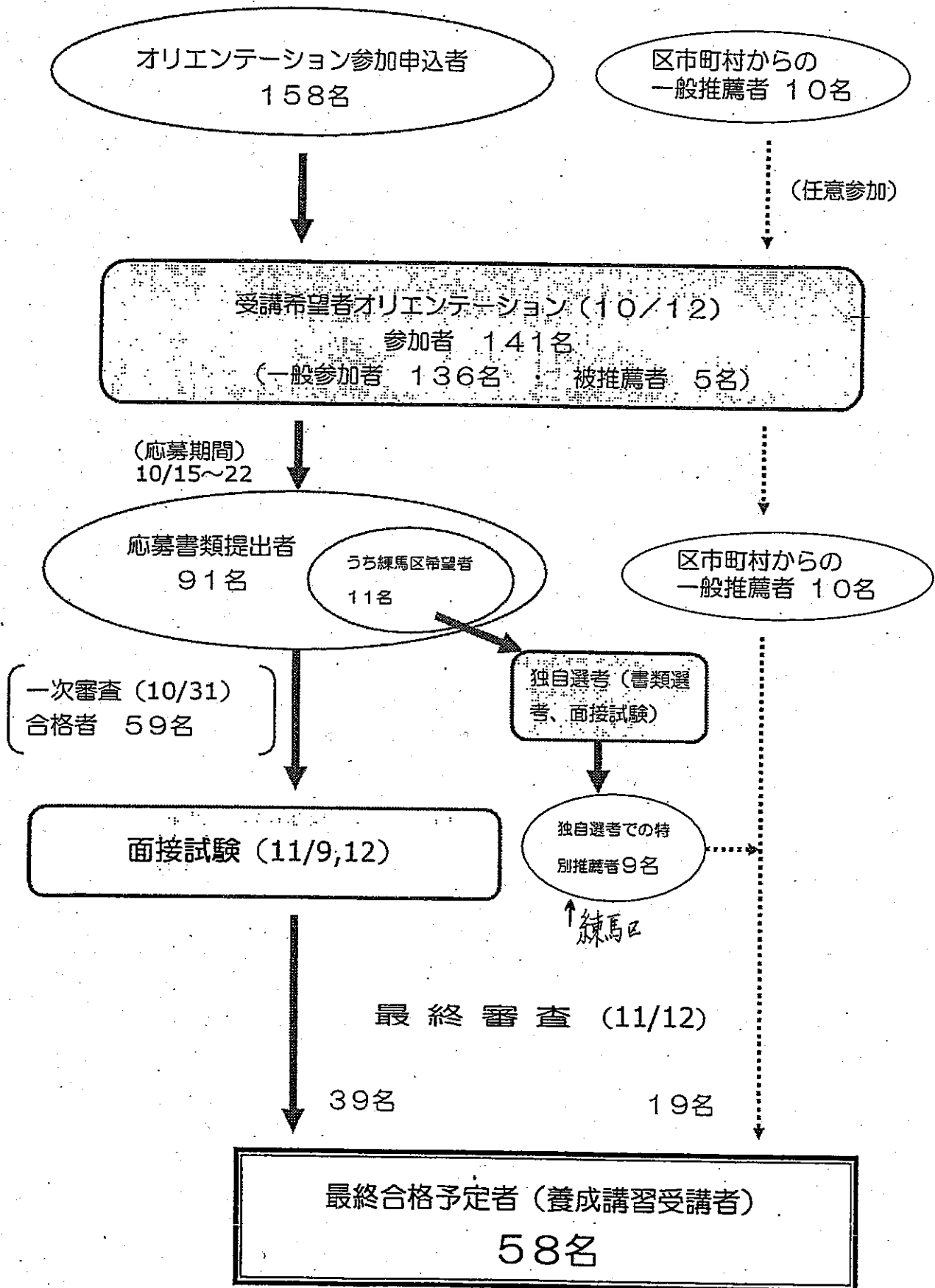
★親族等で適切な後見人が見つけられず、専門職に依頼するには資産がない方の制度利用を目的として、社会貢献型後見人養成研修を実施

★社会貢献型後見人を目指す13人(17年度1期生6名、18年度2期生7名)の区民等を対象に、後見業務に関わる研修、実習、実地研修を行った。

★区と連携し19年度3期生の独自選考を行い、20年1月には新たに9名を登録、研修を開始した。

※1期生、2期生のうち4名が地域で実際の経験を積むため、地域福祉権利擁護事業の生活支援員として、判断能力の不十分な高齢者等の支援にあたっている。(20年5月現在)

平成19年度養成講習受講者応募状況



平成19年度 後見人候補者等養成事業 養成講習 受講決定者の状況

性別、年齢	総数	性別		年齢						平均年齢
		男	女	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳～	
区市町村推薦	*19	5	14	0	0	0	9	9	1	59.4歳
一般応募	39	18	21	0	3	7	11	15	3	55.7歳
合計	58	23 (39.7%)	35 (60.3%)	0 (0.0%)	3 (5.2%)	7 (12.0%)	20 (34.5%)	24 (41.4%)	4 (6.9%)	56.9歳

*独自選考による特別推薦9名を含む。

職業等	総数	職業等							
		生活支援 員等	他、社協 職員	他、福祉 関係	会社員・ 役員	公務員	パート、 非常勤	ボランティア 等	その他
区市町村推薦	*19	6	1	4	0	0	1	0	7
一般応募	39	1	0	8	4	0	5	8	13
合計	58 (100%)	7 (12.1%)	1 (1.7%)	12 (20.7%)	4 (6.9%)	(%)	6 (10.3%)	8 (13.8%)	20 (34.5%)

平成19年度 養成講習 合格(候補)者 区市町村別状況

区	応募数	一次	二次	受入可能人数	推薦	合計
千代田区				5		0
×中央区						0
×港区	3	3	2			2
新宿区	1	1	1	10		1
文京区	2			2		0
台東区	3	2	1	4		1
墨田区	2			2		0
江東区	2	2	1		1	2
品川区	3	2	2	3	1	3
目黒区	3	2	2	2		2
大田区	3	3	1	1		1
×世田谷区	5	5	3			3
×渋谷区	3	1	1			1
中野区	4	3	2	2		2
杉並区	6	5	4	1		4
×豊島区	2					0
北区	2	1	1	2		0
×荒川区	1	1				1
×板橋区	1					0
*練馬区	11	10		7	9	9
足立区	3	2	1	1	1	2
葛飾区	3	3	1	2		1
江戸川区	1			2	3	3
区部計	62	46	23		15	38

* 練馬区: 独自選考

×: 事業不参加

都外	応募数	一次	二次	合計
埼玉県	2	1		0
千葉県	2	1		0
神奈川県	1	1	1	1
都外計	5	3	1	1

市	応募数	一次	二次	受入可能人数	推薦	合計
×八王子市	3	2	2			2
立川市	1	1		5~6		0
武蔵野市	1	1	1		1	2
三鷹市	2	2	2	1~2		2
×青梅市						0
府中市	1	1	1	2	1	2
×昭島市	1					0
調布市	4	4	4	1		4
町田市	2	2	2	3	2	4
×小金井市	1	1	1			1
×小平市	2					0
日野市		1				0
東村山市				4		0
×国分寺市						0
×国立市	1	1	1	1		1
福生市						0
狛江市						0
×東大和市						0
清瀬市	1			1~2		0
×東久留米市						0
×武蔵村山市						0
多摩市	2	2				0
稲城市	1	1	1			1
×羽村市						0
×あきる野市						0
×西東京市	1	1				0
市部計	24	20	15		4	19

総計	応募数	一次	二次	推薦	合計
	91	69	39	19	58

養成講習受講者選考状況

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
オリエンテーション 参加申込者	457名	261名	158名
↓	↓	↓	↓
オリエンテーション 参加者	315名	209名	136名
↓	↓	↓	↓
応募書類提出者	199名	127名	91名
↓	↓	↓	↓
書類選考合格者	74名	70名	59名
↓	↓	↓	↓
面接試験合格者	37名	32名	39名
+	+	+	+
区市町村からの 推薦者	23名	25名	19名
↓	↓	↓	↓
合格者	60名	57名	58名
(平均年齢)	(55.7歳)	(53.9歳)	(56.9歳)
↓	↓	↓	↓
基礎講習修了者	60名	56名	57名